

市の人口と世帯	
※( )内はうち外国人	
2012(平成24)年5月末現在	
総人口	320,541 (2,171)
男	154,657 (1,088)
女	165,884 (1,083)
世帯数	139,503 (1,229)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	

主な紙面	
●子どもたちが引きこまれる生活習慣の軌(わだち)	2
●鏡水ふれあい館落成式 長寿医療制度被保険者のみなさまへ他	3
●夏休みイベント情報	4
●情報パック	6
	7

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号  
☎867-0111 ●印刷(株)近代美術

## 那覇のハーブ(全国へ)

ハーブ(香草)の国内最大生産地と言われる沖縄県。その先駆けとなり、中心的に活動を行っているのは、実は市内在住の農家さん達です。冬でも暖かい沖縄では年間を通してハーブ栽培が可能で、そのおしさは、大手食品会社を通して県内のみならず全国各地に届けられています。特に冬場は、全国の需要のほとんどを沖縄産が賅っています。



ハーブ農家 大城司さん

全国の方々に食べてもらって嬉しいです。みんなの笑顔を思い浮かべながら、大切に育てています。

## チンゲンサイ、ニラ第1位

ハーブの他にも、市の農家さんは活躍しています。沖縄県中央卸売市場での平成23年度取扱量を見ると、チンゲンサイとニラはなんと那覇市が1位。その他にも、なすやパイヤ、白菜など、県内で上位の出荷量を誇る野菜がたくさんあります。

# なはベジ



H23中央卸売市場での「なはベジ」ランキング

なはベジ	県内順位	県内全体に占める割合	取扱数量(kg)
にら	1	42.80%	41,595
チンゲンサイ	1	49.83%	130,567
なす	2	22.06%	67,945
パパイア	2	13.12%	17,111
白菜	2	11.10%	5,061
島にんじん	3	6.98%	5,027

資料:沖縄県中央卸売市場「H23市場年報より」

退職してから農業を始めました。毎日畑に来るのが楽しみです。虫がつきにくいように、網の目の細かいネットを張って、減農薬にも努めています。



JAおきなわ首里石嶺支店の津波雄一郎さん(左)チンゲンサイ農家の与儀実将さん(右)

「なはベジ」って知っていますか?実は、都会的那覇市においても頑張る農家さん達がいます。そんな市内農家さんの作る「なはベジ」は、県内上位の出荷量を誇るものや、全国ブランドとなって全国各地を流通しているものもあります。市民の安心安全を考え頑張る農家さん達を応援しながら、地産地消で健康を目指しましょう。

お問い合わせ 商工農水課 ☎951-3209



JAおきなわ小椋支店経済課長 照屋 強さん

市の農家さんは、土地を確保することが難しい分、畑をとっても大切にしているのが特徴です。手間ひまかけて大切に農作物を育てているため、減農薬に取り組む農家や農業技術の高い方が多いです。

## 都市農家

市内の約8割は市街化区域として指定されており、多くの農地が宅地へと変わりまじた。一方で新規就農希望者数が県内で最も多いのも那覇市で、沖縄県新規就農相談センターに寄せられた平成23年度の就農希望相談件数は47件でした。十分な土地に恵まれない中でも、市内に住み続けながら農業に従事したいという夢を叶えるため、他市町村で畑を借り、通勤農業という新しいスタイルが生み出されています。

## 復活!伝統野菜

市場で流通する野菜の他に、伝統野菜の復活に取り組んでいる方もいます。旧鏡水地域では、戦後、集落ごと米軍基地として接収されたため地域特産の「鏡水(カガンジ)大根」の栽培が途絶えていました。県の農業試験場に保存されていた僅かな種を譲り受け、今では地域関係者により生産が再開されています。



普及に取り組む新崎貴さん(きめが細かく柔らかい鏡水大根)

## 地産地消でチャージャーキャー

昔の人は、「1里四方のものを食べれば健康でいられる」という言葉を伝えてきました。地域にはその地域に合った作物が収穫できます。夏には体温を下げ紫外線から体を護るナスやゴーヤーなど、そして冬には体を温める大根やチデークニ(島人参)などが旬を迎えます。市内の農家さんの心が込められる、「なはベジ」を食べ、元気な体を作りましょう。

**協働さん**  
いらっしやい!!

市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体、個人を紹介します。

**第17回 さつき橋通りクリーン会**

お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎861-3846



さつき橋クリーン会会長 上原 清英さん

第17回は、さつき橋通りクリーン会代表の上原清英さんです。

Q活動のきっかけは何ですか

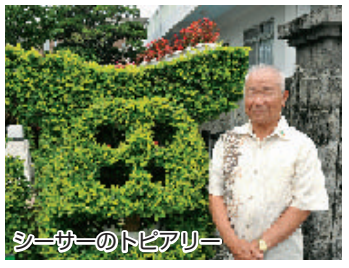
活動を始める前は、スクールゾーンでもあるさつき橋通りの草木がうっそうとし、子どもたちが安全に登下校できるか不安でした。また、草木の植え込みの中に空き缶や、弁当がら、食べ残しなどが捨てられていること、また、落ち葉の中には犬の糞やたばこの吸い殻が落ちていたことも気になっていました。そこで、まずは自分の家の周りを掃除することからはじめたのがきっかけです。

## なごめる空間さつき橋通り

Q今後の取り組みについてお聞かせください

さつき橋通りの名前のとおり、「さつき」の木を増やしていきたいです。通りを木や花でいっぱいにし、地域に喜ばれなごめる空間をつくっていきたくです。

トピアリーと言う植物で動物の形をつくっているのですが、それも増やしていく、子どもたちや住民以外の方々にも喜んでほしい、またこの活動をさつき橋以外の周辺地域にも広めていきたいです。



シーサーのトピアリー